

上場会社名 オムロン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6645 URL <https://www.omron.com/jp/ja/>
 代表者 役職名 代表取締役社長 CEO
 氏名 辻 永 順 太
 問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長 TEL (075)344-7070
 氏名 田 茂 井 豊 晴
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : ・無
 四半期決算説明会開催の有無 : ・無 (投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	607,985	△4.7	26,572	△63.5	31,469	△55.5	7,849	△84.5
2023年3月期第3四半期	637,977	14.2	72,854	9.0	70,661	10.9	50,517	12.7

(注) 四半期包括利益 2024年3月期第3四半期 35,083百万円 (△50.2%) 2023年3月期第3四半期 70,493百万円 (7.5%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	39.87	—
2023年3月期第3四半期	253.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,284,432	916,435	753,116	58.6
2023年3月期	998,160	731,227	728,473	73.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	49.00	—	49.00	98.00
2024年3月期	—	52.00	—		
2024年3月期（予想）				52.00	104.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有・無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	810,000	△7.5	24,000	△76.2	26,500	△73.1	1,500	△98.0	7.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有・無

詳細は、添付資料6～8ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (2)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有・無
 新規 1社（社名）株式会社 JMDC、除外 1社（社名）
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有・無
- (3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有・無
 ② ①以外の会計方針の変更：有・無

(注) 詳細は、添付資料14ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	206,244,872株	2023年3月期	206,244,872株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	9,326,433株	2023年3月期	9,417,692株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	196,875,698株	2023年3月期3Q	198,933,622株

(注) 2024年3月期第3四半期連結会計期間末において、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託として保有する当社株式520,413株は、期末自己株式数に含めて記載しています。また、期中平均株式数には、1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益の算出において控除する自己株式として含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。
 業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6～8ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。
- 当社は、2024年2月5日（月）に投資家向けウェブおよび電話説明会を開催する予定です。

事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

- IAB： インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）
 HCB： ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）
 SSB： ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネス（社会システム事業）
 DMB： デバイス&モジュールソリューションズビジネス（電子部品事業）
 DSB： データソリューションビジネス（データソリューション事業）

※ データソリューション事業は、当社の既存のビジネスカンパニーと株式会社JMDCと協働し、モノづくりから、データを軸に新たな価値を創造するソリューションビジネスへの進化を先導するため、2023年12月に新設しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 9
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 14
(継続企業の前提に関する注記)	P. 14
(会計方針の変更)	P. 14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 14
(セグメント情報)	P. 15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

○全般的概況

当第3四半期連結累計期間（2023年4月～12月）における当社グループの売上高は、前年同期比で減少しました。血圧計需要が欧州などで回復したヘルスケア事業や、拡大する再生可能エネルギー需要を捉えた社会システム事業は好調に推移しましたが、制御機器事業において、グローバルで製造業における設備投資需要の低迷が継続したことに加え、販売代理店における在庫調整の影響を受けたことにより、前年同期比で大きく減少しました。また、電子部品事業においても、民生業界向けの需要低迷の継続により前年同期比で大きく減少しました。

売上総利益率は、価格適正化や変動費コストダウンの取組みの成果はあったものの、事業構成比変動影響や、制御機器事業における商品の構成比変動、滞留在庫に対する評価損の計上による付加価値率の低下の影響が大きく、前年同期比で低下しました。

営業利益については、上記の売上高減少、売上総利益率の低下に加えて、インフレ影響による人件費の増加などにより前年同期比で大きく減少しました。

また、当社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の減少に加え、株式会社JMDC（以下JMDC社）の株式について追加取得時点の市場価格にて再評価を行ったことによる損失等（120億円）を計上したことなどの影響もあり、前年同期比で大きく減少しました。なお、当損失影響を除く、当社株主に帰属する四半期純利益は199億円（前年同期比△60.7%）です。

また、2023年12月21日付で新たにデータソリューション事業本部を新設しました。この結果、当社グループのオペレーティング・セグメントにデータソリューション事業（DSB）を追加しております。データソリューション事業では、当社グループの既存のビジネスカンパニーとJMDC社が協働し、モノづくりから、データを軸に新たな価値を創造するソリューションビジネスへの進化を先導します。JMDC社の財務数値は、当データソリューション事業に含めて開示します。

当第3四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
売上高	6,380億円	6,080億円	△4.7%
売上総利益 (売上総利益率)	2,868億円 (45.0%)	2,582億円 (42.5%)	△10.0% (△2.5P)
営業利益 (営業利益率)	729億円 (11.4%)	266億円 (4.4%)	△63.5% (△7.0P)
税引前四半期純利益	707億円	315億円	△55.5%
当社株主に帰属する 四半期純利益	505億円	78億円	△84.5%
米ドル平均レート	135.7円	142.9円	+7.2円
ユーロ平均レート	140.3円	155.0円	+14.7円
人民元平均レート	19.8円	20.0円	+0.1円

(注) 当期発生したJMDC社株式の市場価格にて再評価を行ったことによる損失等を除いた当社株主に帰属する四半期純利益は199億円（△60.7%）、1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益は100.96円です。

○セグメント別の状況

IAB (制御機器事業)

	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	3,591億円	3,019億円	△15.9%
営業利益	645億円	183億円	△71.6%

＜売上高の状況＞

製造業における設備投資需要は、グローバルで低調に推移しました。特に中華圏において、市況の悪化を背景に、二次電池や半導体関連の投資延期・縮小の影響を大きく受けました。また、販売代理店における在庫が依然として高水準のまま推移しており、引き続き在庫調整の影響をグローバルで受けました。

これらの結果、売上高は前年同期比で大きく減少しました。

＜営業利益の状況＞

売上高の減少に加え、売上商品構成の変化や滞留在庫に対する評価損の計上などによる売上総利益率の低下により、営業利益は前年同期比で大きく減少しました。

HCB (ヘルスケア事業)

	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	1,067億円	1,167億円	+9.3%
営業利益	131億円	165億円	+26.5%

＜売上高の状況＞

欧州などの一部地域で主力製品である血圧計の需要が好調に推移しました。また、中国では肺炎など呼吸器疾患の増加により、ネブライザに対する需要が大きく増加しました。

これらの結果に加え、円安による為替影響もあり、売上高は前年同期比で増加しました。

＜営業利益の状況＞

売上高の増加に加え、物流費や部材費のコストダウンにより、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

SSB (社会システム事業)

	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	639億円	903億円	+41.4%
営業利益(△損失)	△2億円	55億円	—

<売上高の状況>

エネルギーソリューション事業は、住宅領域での電気料金高騰の継続による再エネ自家消費ニーズの高まりや補助金制度利用、産業・商業領域でのカーボンニュートラルへの取組み加速による投資拡大を受け、蓄電システムなどが好調に推移しました。また、駅務システム事業は、旅客者数の回復と運賃改定による鉄道各社の好調な業績を背景に、設備投資需要が好調に推移しました。

これらの結果、売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益(損失)の状況>

為替影響により外貨建仕入コストが増加する一方、売上高の増加により営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

DMB (電子部品事業)

	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	1,050億円	885億円	△15.7%
営業利益	135億円	31億円	△76.7%

<売上高の状況>

民生業界向け部品の需要は、インフレなどの影響を受け、グローバルで顧客の投資抑制や生産活動が停滞しました。自動車向け部品の需要は、半導体を含む部材不足の影響が緩和され、生産台数の回復は見られましたが、総じて低調に推移しました。

これらの結果、売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<営業利益の状況>

売上高減少の影響などにより、営業利益は前年同期比で大きく減少しました。

DSB (データソリューション事業)

	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	—	74億円	—
営業利益	—	6億円	—

(注) データソリューション事業にはJMDC社の2023年10月16日の連結子会社化以降の財務数値を含んでいます。

<売上高の状況>

JMDC社における契約健康保険組合数、データ利活用先である製薬企業および保険会社との取引量、さらに遠隔読影サービスを利用する医療機関数などが引き続き拡大し、売上高は堅調に推移しました。

<営業利益の状況>

売上高拡大により、営業利益は堅調に推移しました。
(JMDC社の連結子会社化によって識別した無形資産の償却費などの費用を当セグメントに含めています。)

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期は、制御機器事業および電子部品事業において、前回(2023年10月27日公表)の連結業績予想における事業環境認識(以下、前回見通し)より、低調な事業環境が継続すると想定していません。

制御機器事業においては、半導体関連の投資需要が第3四半期において低位で推移しており、第4四半期においてもその状況が継続し、前回見通しを下回ると見えています。また環境モビリティ業界においては、投資の延期などの影響を受け、EV完成車や関連部品、二次電池への設備投資需要が前回見通しを下回ると見えています。

電子部品事業においては、中国経済の減速などを背景に、民生業界の汎用機器などの需要が第4四半期も低調に推移すると見えています。一方、ヘルスケア事業では、第4四半期以降、エリアごとに需要の強弱があるものの、総じて緩やかな成長が継続すると見えています。社会システム事業においては、第4四半期もエネルギー市場および公共輸送市場の需要が好調に推移すると見えています。

以上の事業環境認識から、当社グループの当期の売上高は、前回予想を下回る見込みです。また、当期の営業利益については、売上高減少に加え、第3四半期累計期間における売上総利益率低下要因であった事業構成比変動影響や制御機器事業の売上高減少に伴う付加価値率低下が第4四半期も継続する見込みであり、前回予想を下回る見込みです。以上を踏まえ、当社グループの通期連結業績予想を、前回予想(2023年10月27日公表)から下方修正します。

なお、連結業績予想には、2023年10月16日に当社の連結子会社となった、JMDC社の連結業績見通し(当社グループが業績見通しに反映する下期相当分)を織り込んでいます。また、第4四半期の前提為替レートについては、1米ドル145.0円、1ユーロ155.0円、1人民元20.0円としています。

各事業セグメントにおける第4四半期の主な事業環境認識は以下のとおりです。

制御機器事業	全ての業界で低調な事業環境が継続。特に半導体や中国の二次電池は大手顧客を中心に投資延期が継続。
ヘルスケア事業	商品カテゴリごとに濃淡があるものの、総じて底堅い事業環境が継続。
社会システム事業	総じて好調な事業環境が継続。 特にエネルギー市場と公共輸送市場は前回見通し時の想定を上回り推移。
電子部品事業	中国経済の減速を背景に汎用機器など需要低迷が継続。
データソリューション事業	JMDC社のヘルスビッグデータ市場が引き続き堅調に推移。

○連結業績予想

	前回予想	今回修正 予想	対前回予想 増減 (増減率)	(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	(ご参考) 対前期増減率 ()は前期増減
売上高	8,500億円	8,100億円	△400億円 (△4.7%)	8,761億円	△7.5%
売上総利益率	43.1%	41.9%	△1.2P	45.0%	(△3.1P)
営業利益	450億円	240億円	△210億円 (△46.7%)	1,007億円	△76.2%
税引前 当期純利益	450億円	265億円	△185億円 (△41.1%)	984億円	△73.1%
当社株主に 帰属する 当期純利益	180億円	15億円	△165億円 (△91.7%)	739億円	△98.0%
1株当たり 当社株主に帰属 する当期純利益	91円42銭	7円62銭	△83円80銭	372円19銭	(△364円58銭)
米ドル平均 レート	140.0円	143.4円	+3.4円	135.2円	+8.2円
ユーロ平均 レート	153.9円	155.0円	+1.1円	140.9円	+14.0円
人民元平均 レート	19.6円	20.0円	+0.4円	19.7円	+0.3円

(注1) 各通貨の平均レートは、第3四半期までの実績為替レートに第4四半期の前提為替レートを加味して算出した為替レートです。

(注2) JMDC社株式の市場価格にて再評価を行ったことによる損失等を除いた当社株主に帰属する当期純利益は135億円、1株当たり当社株主に帰属する当期純利益は68.57円と見込んでいます。

○セグメント別業績予想

(単位：億円)

		前回予想	今回修正 予想	対前回予想 増減 (増減率)	(ご参考) 前期実績 (2023年 3月期)	(ご参考) 対前期 増減率
IAB	外部顧客に 対する売上高	4,200	3,885	△315 (△7.5%)	4,857	△20.0%
	営業利益	295	140	△155 (△52.5%)	858	△83.7%
HCB	外部顧客に 対する売上高	1,520	1,505	△15 (△1.0%)	1,421	+5.9%
	営業利益	175	175	—	160	+9.3%
SSB	外部顧客に 対する売上高	1,370	1,410	+40 (+2.9%)	1,073	+31.4%
	営業利益	135	145	+10 (+7.4%)	75	+93.6%
DMB	外部顧客に 対する売上高	1,230	1,135	△95 (△7.7%)	1,389	△18.3%
	営業利益	55	15	△40 (△72.7%)	155	△90.3%
DSB	外部顧客に 対する売上高	165	190	+25 (+15.2%)	—	—
	営業利益	18	25	+7 (+38.9%)	—	—
消去 調整他	外部顧客に 対する売上高	15	△25	△40 (—)	21	△46 (—)
	営業利益 (△損失)	△228	△260	△32 (—)	△242	△18 (—)
連結	外部顧客に 対する売上高	8,500	8,100	△400 (△4.7%)	8,761	△7.5%
	営業利益	450	240	△210 (△46.7%)	1,007	△76.2%

(注) JMDC社の連結業績予想 (JMDC社の連結業績見通しに基づいたものではなく、当社グループの通期業績を見通す上での、当社算定による概算値) は「DSB」の欄に含めています。(前回予想の公表時に消去調整に含めていたJMDC社業績予想についても「DSB」欄に組み替えています。)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%
流動資産	486,892	48.8	523,696	40.8
現金及び現金同等物	105,279		129,311	
受取手形及び売掛金	180,074		153,898	
貸倒引当金	△869		△1,012	
棚卸資産	173,926		187,964	
その他の流動資産	28,482		53,535	
有形固定資産	129,585	13.0	134,156	10.4
投資その他の資産	381,683	38.2	626,580	48.8
オペレーティング・リース 使用権資産	47,501		53,000	
のれん	43,125		346,849	
その他の無形資産	45,247		104,395	
関連会社に対する 投資及び貸付金	134,557		13,647	
投資有価証券	46,123		35,679	
施設借用保証金	8,094		8,223	
前払年金費用	29,103		30,640	
繰延税金	23,513		29,237	
その他の資産	4,420		4,910	
資産合計	998,160	100.0	1,284,432	100.0

(注) 当第3四半期連結会計期間の「のれん」には、JMDC社の株式の追加取得に伴い発生した金額2,985億円が含まれています。なお、支配獲得日における取得資産および引受負債の公正価値は現在算定中であり、取得原価の配分が完了していないため、当該のれんの金額は変更される可能性があります。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
		%		%
(負債の部)				
流動負債	210,020	21.0	278,388	21.7
支払手形及び買掛金・未払金	92,855		86,773	
短期借入金	213		87,325	
1年以内返済予定の長期借入金	—		3,151	
未払費用	50,246		41,134	
未払税金	10,560		3,959	
短期オペレーティング・リース負債	11,871		13,008	
その他の流動負債	44,275		43,038	
繰延税金	2,052	0.2	17,291	1.3
退職給付引当金	9,348	0.9	8,771	0.7
長期借入金	—	—	10,248	0.8
長期オペレーティング・リース負債	33,284	3.3	37,292	2.9
その他の固定負債	12,229	1.3	16,007	1.3
負債の部合計	266,933	26.7	367,997	28.7
(純資産の部)				
株主資本	728,473	73.0	753,116	58.6
資本金	64,100	6.4	64,100	5.0
資本剰余金	98,506	9.9	98,900	7.7
利益準備金	24,729	2.5	27,339	2.1
その他の剰余金	571,807	57.3	566,808	44.1
その他の包括利益(△損失)累計額	39,947	4.0	65,934	5.1
為替換算調整額	51,344		75,830	
退職年金債務調整額	△11,226		△9,855	
デリバティブ純損益	△171		△41	
自己株式	△70,616	△7.1	△69,965	△5.4
非支配持分	2,754	0.3	163,319	12.7
純資産の部合計	731,227	73.3	916,435	71.3
負債及び純資産合計	998,160	100.0	1,284,432	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比
		%		%
売上高	637,977	100.0	607,985	100.0
売上原価	351,200	55.0	349,811	57.5
売上総利益	286,777	45.0	258,174	42.5
販売費及び一般管理費	177,568	27.9	193,708	31.9
試験研究開発費	36,355	5.7	37,894	6.2
営業利益	72,854	11.4	26,572	4.4
その他費用(△収益)―純額―	2,193	0.3	△4,897	△0.8
税引前四半期純利益	70,661	11.1	31,469	5.2
法人税等	19,074	3.0	9,212	1.5
持分法投資損益	467	0.1	13,374	2.2
四半期純利益	51,120	8.0	8,883	1.5
非支配持分帰属損益	603	0.1	1,034	0.2
当社株主に帰属する 四半期純利益	50,517	7.9	7,849	1.3

(注) 「持分法投資損益」には、JMDC社株式の市場価格にて再評価を行ったことによる損失等が含まれています。また、当損失を除いた「当社株主に帰属する四半期純利益」は199億円(前年同期比増減率 △60.7%)、1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益は100.96円です。

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
	金額	金額
四 半 期 純 利 益	51,120	8,883
その他の包括利益 — 税効果考慮後 為 替 換 算 調 整 額	14,544	24,699
退 職 年 金 債 務 調 整 額	3,886	1,371
デ リ バ テ ィ ブ 純 損 益	943	130
そ の 他 の 包 括 利 益 計	19,373	26,200
四 半 期 包 括 利 益	70,493	35,083
(内訳)		
非支配持分に帰属する四半期包括利益	655	1,247
当社株主に帰属する四半期包括利益	69,838	33,836

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		51,120		8,883
1. 四半期純利益				
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 四半期純利益の調整				
(1) 減価償却費	19,777		22,289	
(2) 持分法投資損益	467		13,374	
(3) 受取手形及び売掛金の減少(△増加)	△3,891		37,893	
(4) 棚卸資産の増加	△43,703		△6,236	
(5) 支払手形及び買掛金・未払金の増加(△減少)	9,103		△11,874	
(6) その他(純額)	△12,631	△30,878	△32,478	22,968
営業活動によるキャッシュ・フロー		20,242		31,851
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 投資有価証券の売却による収入	-			23,812
2. 投資有価証券の取得	△1,911			△3,029
3. 資本的支出	△27,983			△30,778
4. 事業・会社の買収(現金取得額との純額)	-			△67,265
5. 有形固定資産の売却による収入	1,430			330
6. 関連会社に対する投資の増加	△9,976			△1,121
7. その他(純額)	△186			△1,037
投資活動によるキャッシュ・フロー		△38,626		△79,088
(参考) フリーキャッシュ・フロー		△18,384		△47,237
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期債務の減少(純額)	△20,000			△1,591
2. 短期借入れによる収入	-			86,580
3. 長期借入れによる収入	-			2,500
4. 長期借入金の返済による支出	-			△205
5. 親会社の支払配当金	△18,912			△19,885
6. 自己株式の取得	△17,900			△15
7. その他(純額)	△4			△626
財務活動によるキャッシュ・フロー		△56,816		66,758
IV 換算レート変動の影響		7,280		4,511
現金及び現金同等物の増減額		△67,920		24,032
期首現金及び現金同等物残高		155,484		105,279
四半期末現金及び現金同等物残高		87,564		129,311

(注) フリーキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローに投資活動によるキャッシュ・フローを加味した金額です。

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、棚卸資産の評価方法についてこれまで主として先入先出法による低価法を採用していた当社および国内連結子会社並びに一部の海外連結子会社につきまして、主として平均法による低価法に変更しています。この変更は、2022年度にスタートした長期ビジョン「Shaping the Future 2030」および中期経営計画(SF 1st Stage)に基づき、不確実性が高まった近年の社会や事業環境の変化に対応するための販売、生産、在庫保有方針や在庫管理システムの見直しを契機として、平均法にて棚卸資産の評価を行う方が、より適切に期間損益計算を行うことができると判断し、実施したものであります。なお、当該変更による(四半期)連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

[事業の種類別セグメント情報]

(単位：百万円)

		2023年3月期 第3四半期 連結累計期間	2024年3月期 第3四半期 連結累計期間	前年同期比
IAB	外部顧客に対する売上高	359,073	301,858	84.1%
	セグメント間の内部売上高	5,217	3,924	75.2%
	売上高合計	364,290	305,782	83.9%
	営業費用	299,831	287,463	95.9%
	営業利益(△損失)	64,459	18,319	28.4%
HCB	外部顧客に対する売上高	106,720	116,670	109.3%
	セグメント間の内部売上高	205	156	76.1%
	売上高合計	106,925	116,826	109.3%
	営業費用	93,847	100,283	106.9%
	営業利益(△損失)	13,078	16,543	126.5%
SSB	外部顧客に対する売上高	63,855	90,292	141.4%
	セグメント間の内部売上高	9,421	9,620	102.1%
	売上高合計	73,276	99,912	136.4%
	営業費用	73,493	94,385	128.4%
	営業利益(△損失)	△217	5,527	—
DMB	外部顧客に対する売上高	105,030	88,530	84.3%
	セグメント間の内部売上高	37,642	28,625	76.0%
	売上高合計	142,672	117,155	82.1%
	営業費用	129,210	114,013	88.2%
	営業利益(△損失)	13,462	3,142	23.3%
DSB	外部顧客に対する売上高	—	7,368	—
	セグメント間の内部売上高	—	17	—
	売上高合計	—	7,385	—
	営業費用	—	6,790	—
	営業利益(△損失)	—	595	—
消去調整他	外部顧客に対する売上高	3,299	3,267	99.0%
	セグメント間の内部売上高	△52,485	△42,342	—
	売上高合計	△49,186	△39,075	—
	営業費用	△31,258	△21,521	—
	営業利益(△損失)	△17,928	△17,554	—
連結	外部顧客に対する売上高	637,977	607,985	95.3%
	セグメント間の内部売上高	—	—	—
	売上高合計	637,977	607,985	95.3%
	営業費用	565,123	581,413	102.9%
	営業利益(△損失)	72,854	26,572	36.5%

(注) 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」に記載のとおり当第3四半期連結会計期間よりDSBを新設しています。

[所在地別売上高]

(単位：百万円)

		2023年3月期 第3四半期 連結累計期間	2024年3月期 第3四半期 連結累計期間	前年同期比
IAB	日本	106,864	97,692	91.4%
	米州	38,589	31,038	80.4%
	欧州	68,601	63,346	92.3%
	中華圏	102,998	73,497	71.4%
	東南アジア他	41,984	36,282	86.4%
	直接輸出	37	3	8.1%
	計	359,073	301,858	84.1%
HCB	日本	20,014	18,634	93.1%
	米州	21,400	21,050	98.4%
	欧州	16,955	22,482	132.6%
	中華圏	34,220	41,616	121.6%
	東南アジア他	13,647	12,463	91.3%
	直接輸出	484	425	87.8%
	計	106,720	116,670	109.3%
SSB	日本	63,835	89,435	140.1%
	米州	—	—	—
	欧州	—	—	—
	中華圏	7	181	—
	東南アジア他	—	—	—
	直接輸出	13	676	—
	計	63,855	90,292	141.4%
DMB	日本	31,075	30,231	97.3%
	米州	18,522	12,290	66.4%
	欧州	13,649	12,460	91.3%
	中華圏	29,112	21,744	74.7%
	東南アジア他	12,581	11,665	92.7%
	直接輸出	91	140	153.8%
	計	105,030	88,530	84.3%
DSB	日本	—	7,133	—
	米州	—	—	—
	欧州	—	—	—
	中華圏	—	1	—
	東南アジア他	—	—	—
	直接輸出	—	234	—
	計	—	7,368	—
消去調整他	日本	3,299	3,267	99.0%
	米州	—	—	—
	欧州	—	—	—
	中華圏	—	—	—
	東南アジア他	—	—	—
	直接輸出	—	—	—
	計	3,299	3,267	99.0%
連結	日本	225,087	246,392	109.5%
	米州	78,511	64,378	82.0%
	欧州	99,205	98,288	99.1%
	中華圏	166,337	137,039	82.4%
	東南アジア他	68,212	60,410	88.6%
	直接輸出	625	1,478	236.5%
	計	637,977	607,985	95.3%

(注1) 日本以外の区分に属する主な国または地域など

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州
- (5) 直接輸出……………直送輸取出引

(注2) 2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (1)経営成績に関する説明」に記載のとおり当第3四半期連結会計期間よりDSBを新設しています。